WAK WAK

発行
代表理事　岡本 茂
〒569-0814　高槻市富田町２丁目 13-8
ハイツ白菊1F
TEL/FAX　072－693－9005
E-mail:jinken@ba.wakwak.com
URL:http://wak2.jimdo.com

2014年度社員(正会員)総会を開催しました！

―3年目となる今年は新たな事業にもチャレンジしますー

３月25日に一般社団法人タウンスペースWAKWAK理事会と社員（正会員）総会を開催し、新年度事業計画・予算案等をそれぞれ承認決議しました。

出会い・つながり・元気を創造する 地域福祉へ今年もみなさんのご支援を

社員総会は理事４名・監事１名、社員６名の 11 名で構成され、議長・議事録署名人の選出の後、岡本茂代表理事からあいさつ。

ひとりぐらし高齢者、障がい児者、子育て家庭や若者への支援サポートや居場所づくりなどひとりひとりの生活に合わせたまちの姿をグランドデザインしていくほか、福祉と人権を基調とした市民活動の促進を引き続き図っていくとした新年度事業計画、予算案をそれぞれ承認決議しました。

こどものあゆみバックアップ事業を７月からスタート予定

事業計画では、いわゆる生活困窮家庭の子どもたち（中学生)を対象とした学力支援事業を新たにスタートさせることも決定しました。本事業は、「貧困の連鎖」を断ち切ることを目的に府福祉基金を活用して実施予定です。

新理事の紹介です

昨年７月に逝去された南部裕子さんの後任理事として、新しく工藤由紀子さん（KC works 代表）が推薦されました。

選任は５月決算総会での予定です。よろしくお願いいたします！

生年月日：1951（昭和26）年12月６日
略歴：北海道小樽市に生まれる
1975年、立教大学文学部日本文学科卒業
1999年、国会議員事務所勤務
2013年、同定年退職
2014年、チラシ・グラフィックデザインやWEBデザイン個人事務所「KCworks」を設立し代表就任

まちづくりへひとこと
スーパーなどで高齢者の方がお一人でお惣菜を買う姿を良く見ます。一日、誰とも話さない、そんな人を一人でも減らして、笑顔が増えていくそんなまちづくりが出来たらと思います。

好きなこと
人とつながること。読書。映画鑑賞。

得意なこと
手作りアクセサリー・ブックカバー制作、朗読。

ボーダレスアート展「わんだーぼっくす」へのご来場ありがとうございました

昨年 12 月 1 日(日)・2 日(月)の両日にわたり、富田ふれあい文化センターでボーダレスアート展「わんだーぼっくす」を開催いたしました。

わんだーぼっくす受講生とピックアップアーティスト展

「アート作品展（わんだーぼっくす受講生とピックアップアーティスト展）」には昨年を上回る２５６名が参加。

濱田剛史市長、一瀬武教育長、井出正夫社会福祉協議会会長らにもご来場いただき、励ましをいただきました。

市民と行政との協働応援事業としても実施

今年度は協働プラザ「市民と行政との協働応援事業」としても実施され、「はたよしこさん講演会」にも８２名、計３３８名ものご参加をいただき、盛況のうちに終えることが出来ました。

フェスタ・ヒューマンライツとも同時開催

また、サニースポットでのバザーコーナーでは京都市立芸大の学生さんによるアート創作品の販売も行いました。

マスコミ各紙にも報道取材いただきました

障がいのある・ないを超えてアートでつながる「ボーダレスアート教室わんだーぼっくす」もまだ開設２年目ですが、高槻市広報・ホームページはもとより、読売・産経各紙朝刊でも紹介いただきました。

また、開催中もアート教室へのお問い合わせを多くいただきました。

今後とも、受講生のすぐれた個性やオリジナリティを発揮した素晴らしい作品を創り出していけるよう一層努めてまいりたいと思います。ご来場、ありがとうございました。

寄せられたアンケートから（一部）

・アウトサイダーアートに地元でふれる機会があるとは思ってもみませんでした。感性の世界は、どこまでも自由だな…と思いました。（市外・四十代）

・作者が何故キャンパスに私が思いつかない絵を表現できるのか。その想像力に驚かされてしまいました。機会があれば、出来るだけ多く開催されることを望みます。（市内・六十代）

・見る側の心に想像力を湧き立たせるようなタッチの色の表現。すばらしい作品でした。希望の色を見る思いです。（市内・六十代）

・色の使い方が素直できれいと思った。人と人とのつながり、温もりを感じました。（市内・五十代）

・どの絵も色がきれいですごいと思いました。「キャンプファイヤー」や「海」の絵とか「ライオン」の絵がすごかった。また、見てみたいと思いました。（市内・小学校三年生）

・初めて見に来ましたが、素敵な絵に出会えてうれしいです。「キャンプファイヤー」の炎がすごくきれいで印象に残りました。電車の絵も自由な曲線、色づかいがとてもきれいでした。（市内・三十代）

・「金色」はその個性と色の中からにじみ出てくる主張に感動しました。（市内・六十代）

・頭に浮かぶイメージの可能性を絵で表現できる素晴らしい才能に感服します。（市内・七十代）

講演会「はてしない創造力に出会う ～アウトサイダーアートの魅力」

はたよしこさん（絵本作家/ボーダレス・アートミュージアムNO-MAアートディレクター）

心の空白を埋める 心が満ちる

「心の中の空白を埋める」というのはすごく抽象的な言い方ですが自分の世界にすべてを染めていく充足感、「心が満ちる」という事と非常な関連があると思ったりしています。

言葉によるコミュケーション手段を持たなくとも、人はどこかで自分の心にとどめたものを形にしたい思いがあるととても強く感じます。

空想のはてしない世界を描く

「障がい」という一般日常生活では確かに足かせになることは多いと思います。それをヘルプするのが福祉の仕事でもあるわけです。

しかし、自分の「空想のはてしない世界」を描き続けることは、世界を征服したようなすごく深い満足感につながります。彼らは、「空想」とか「イメージ」を描くことでどんどん自由な世界に飛び立っている感じをすごく受けました。

そのために「この人は絵を描いている」「自分のために自分の夢のために描き続けています」。

障がいは力

既存の価値観から抜け出して何か新しいものをつくろうというのが芸術家根性なんです。

自分の中にある感覚と発散する事の楽しさをきっちり見つけて、ちょっと画材の工夫を考えてあげて、研ぎ澄まされた感性をどうやって形に残すか、どう次のステップを踏んで持続することが出来るか。そういうことを考えるのが、私たちの一番大事なところだと思います。

本人の個性、それこそが無限の力となるわけです。そこを絶対にはずさないで楽しく前を向いてわくわくした喜びを作っていっていただきたいと思います。

（講演内容は、主催者の責任でその一部のみを抜粋して、まとめさせていただきました）

講演会に引き続きパネルディスカッション

はたよしこさんの講演に引き続き、ボーダレスアート教室わんだーぼっくす講師の田端照美・冨岡淳・加藤玲子さん、国際障害者交流センター「ビッグアイ アートプロジェクト公募展」で入選したわんだーぼっくす受講生・中園晋さんのお父さん、美術教室ライプハウス加地英貴さんのお母さんからもそれぞれの作品の紹介と背景を語っていただきました。ありがとうございました！

わんだーぼっくす受講生らが高槻市長を表敬訪問

国際障害者交流センター「ビッグ・アイ アートプロジェクト」で入賞・入選したわんだーぼっくす受講生の中園晋さん（障がい者通所支援施設サニースポット利用者）と加地英貴さん（美術教室ライプハウス）。「産経二科大阪展」でポストカード大賞入選を果たした村濱正博さん（サニースポット利用者）の三名がご家族の方と受賞報告のため濱田剛史・高槻市長を表敬訪問させていただきました。

なお、表敬訪問の様子は、高槻市ホームページ「街フォト」（十一月十八日）にも掲載されました。

2014年度事業計画

1．地域福祉グランドデザインづくり事業を促進します

☺「富田富寿栄住宅建替基本構想」(2014年３月)を受け、自治会組織と連携しながら「富田まち・くらしづくりネットワーク」の活性化・再構築と取り組みのみえる化を促進していきます。

2．「すべての人に居場所と出番」がある社会をめざします

☺ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」を引き続き毎月土の２回開催。新年度は「子どもゆめ基金」の申請も活用予定です。

3．地域支え合い（ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援）事業を推進します

地域支え合い事業

☺高齢者・障がい者世帯の困りごと（ニーズ）を集約し、家事代行支援サービスの実施に向け関係機関との協議を促進します。

ライフサポート事業

☺ひとりぐらし高齢者、親亡き後の障がい児者の財産管理や権利擁護のための生活支援・相談事業を行うと共に、市民後見人の活動支援をすすめます。

障がい者グループホーム整備事業

☺社福つながり・つながり後援会家族会ひだまりと協働で、富田地域での夜間支援対応型グループホーム整備事業を促進します。

青少年・子育て支援事業

☺こどものあゆみバックアップ（生活困窮家庭の子どもたちへの学力支援）事業の新たな実施に向け、関係機関との協議を促進します。

コミュニティ・ボランティアの発掘育成

☹まちの達人、コミュニティ・ボランティア育成のための研修事業、メディア・リテラシー推進事業にも取り組みます。

イベント案内

4/16(水)　10：00～14:30
くらし創造の家・朋　「春の交流会」

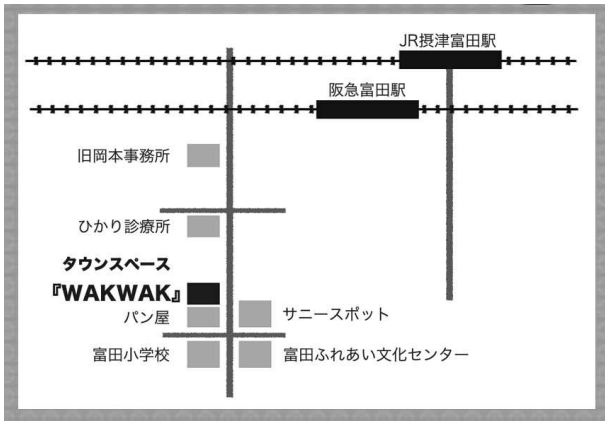
5/10(土)　15:00～17:30　クロスパル５F視聴覚室
市民活動ネットワークセミナー
「災害復興支援からまちづくりを考える」
磯部康子(神戸新聞社会部編集委員)さん

/17(土)　13:30～15:00　生涯学習センター3F
市民と行政との協働応援事業報告会

/24(土)　13:30～15:30　富田ふれあい文化センター
人権の芽を育てよう「まあちゃんバンドライヴ」

会員継続と会費のお願い

賛助会員として広く活動を支援して下さい。正会員は社員として議決権を有します。

正会員	(団体)	1万円	(個人)	5千円
賛助会員	(団体)	1万円	(個人)	1千円

いずれも年額(１口)です。入会手続き(継続含む)と会費納入は同封の振替用紙をご利用ください。